

1. 教育計画

小児看護学

分野	専門分野Ⅱ 小児看護学	科目名	小児看護活動論Ⅰ
単位・時間	1 単位・30 時間（授業 28 時間）	対象学年	2 年生
方法	講義、演習、グループワーク	時期	後期
講師名（担当時間数）	専任教員 高宮 仁美（28 時間）		
講師の実務経験	看護師として星総合病院に 10 年 4 ヶ月		
学習目標	<p>I. 小児各期の成長・発達の特徴を理解し、小児及びその家族に必要な看護を学ぶ。</p> <p>II. 小児看護に必要なアセスメント方法を学ぶ。</p>		
成績評価方法	<p>筆記試験筆記試験 100 点</p> <p>※出席状況・態度面なども評価対象とする。</p>		
使用テキスト*購入	<p>医学書院：小児看護学〔Ⅰ〕小児看護学概論・小児臨床看護総論</p> <p>インターメディカ：写真でわかる小児看護技術</p>		
参考文献*非購入	<p>中央法規：小児Ⅰ 看護観察のキーポイントシリーズ</p> <p>小児Ⅱ 看護観察のキーポイントシリーズ</p> <p>オーム社：看護系標準教科書 小児看護学</p>		
履修上の留意	小児看護学概論の学習内容をしっかり復習し、授業に臨むこと。		
講師からのメッセージ	<p>小児看護の対象である子どもについて理解を深めるためには、成長・発達の特徴を学ぶことが欠かせません。そこで小児各期にある子どもの成長・発達や家族の特徴、必要な看護について学習し、子どもの全体像を描いていきましょう。また小児看護において、常に子どもの発達段階を考慮したアセスメントが求められます。子どもと家族に何が起きているのか、何を必要としているのかを考え行動できる、幅広い視点を持てるよう学習していきましょう。</p>		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態
1	2	小児各期の理解 【 総論 】	小児看護学概論の振り返り	講義
2	2	小児各期の理解 【 新生児・乳児 】	【 新生児 】 形態的特徴、身体生理の特徴、各機能の発達、 新生児の養育および看護	講義 GW
3	2	↓	【 乳児 】 形態的特徴、身体生理の特徴、感覚機能、運 動機能、知的機能、コミュニケーション機能、 情緒・社会的機能、乳児の養育および看護	講義
4	2	↓		講義
5	2	小児各期の理解 【 幼児期 】	【 幼児 】 形態的特徴、身体生理の特徴、感覚機能、 運動機能、知的機能、コミュニケーション機 能、情緒・社会的機能、日常生活、幼児の養育 および看護	講義
6	2	↓		講義
7	2	↓		講義
8	2	小児各期の理解 【 学童期・思春期 】	【 学童 】 形態的特徴、身体生理の特徴、感覚・運動機 能、情緒・知的機能、日常生活、社会的機能、 不適応行動・症状、子どもを取り巻く諸環境、 学童の養育および看護	講義
9	2	↓		講義
10	2	↓	【 思春期 】 形態的特徴、生理的特徴、知的・情緒的・社 会的機能、生活の特徴、子心の問題、飲酒・ 喫煙、性に関する健康問題、反社会的・逸脱 行動、事故・外傷、思春期の看護	講義 GW
11	2	↓		講義
12	2	小児のアセスメント 【 アセスメントに必 要な技術・身体的アセ スメント 】	【 アセスメントに必要な技術 】 コミュニケーション、バイタルサイン、 身体測定 【 身体的アセスメント 】	講義 演習
13	2	↓	一般状態、眼、耳、顔面・鼻・口腔、呼吸、 心臓・血管系、腹部、筋・骨格系のアセスメン ト、神経系、生殖器のアセスメント、 リンパ系、皮膚・毛髪・爪のアセスメント	講義 演習
14	2	↓		講義 演習
15	2	評価	筆記試験	試験